

企業を伸ばす 地域を活かす 2

〈新宿区編〉

②

手間と時間を惜しまず 心をこめて経営支援

東京出身の私にとって、新宿は中学生の頃から映画館によく足を運ぶなどして慣れ親しんだ街。

新宿区の特徴は、1日の乗降客数が約350万人に上る新宿駅をハブにした交通の利便性ゆえに、多くの人が集まっています。

区内の企業で最も多いのは卸売業および小売業で、新宿駅の西側にはIT企業が多く、同駅の東西に不動産業が数多く立地しています。

飲食業も多く、東京都内を中心に「牛たん とろろ 麦めし ねぎし」などの店舗を展開している、ねぎしフードサービス(新宿区西新宿)も、当社の投資先企業の1つ。

投資先企業からご相談いただいたこと

に対しては、手間と時間を惜しまずに情報を収集し、リサーチも行い、専門家も紹介するなど、心を込めた支援を行っています。

最近よくご相談いただくのは、株主構成の安定化や経営承継。なかでも経営承継は中小企業にとって大きな問題で、昨年3月に新宿区が発表した平成28年度「新宿区産業と企業等の事業活動に関する調査報告書」によれば、経営承継の「候補者がいない」が15.3%。「候補者がいない」企業の48.9%が経営状況は「普通以上」なので、後継者さえいれば事業の存続は十分に可能であるのに、非常に残念です。

経営承継は機微な問題を含むので外部には相談しづらく、周囲の人たちが危機

意識を持ちながらも、なかなか口出しできないケースが少なくありません。

その点、政府系機関である当社は株主ではありますが、中立・客観的な立場から助言を行うことが可能なので、気兼ねなくご相談いただければと思います。

私自身はオフの付き合いも大事にしており、業務第四部で静岡県を担当していた頃は、休日に投資先企業の経営者と一緒に富士登山もしながら、普段は聞けない経営者の本音や思いを伺ったりしながら、良い関係を作ることを心がけてきました。

担当させていただいた経営者の方に、ずっと名前を覚えていてもらえるようなお付き合いをしていきたいと日頃から思っています。



東京中小企業投資育成 業務第二部
部長代理

鈴木 繁さん(39歳)

1978年9月東京都生まれ

2005年3月早稲田大学大学院理工学研究科
修了

2005年4月東京中小企業投資育成入社
創業期投資支援室、業務第四部(静岡県担当)日本政策金融公庫
出向、業務第一部(港区担当)を経て、17年4月より業務第二部(新宿区担当)に配属され、現在に至る